

苫小牧市教育委員会会議録

会 議 区 分	苫小牧市教育委員会 第 19 回 定例委員会
日 時	平成21年 9月29日 自 15時30分 至 17時45分
場 所	苫小牧市役所第2庁舎 2階会議室
出 席 委 員	委 員 長 吉 本 俊 憲 委 員 鈴 木 正 樹 委 員 佐 藤 郁 子 委 員 佐 藤 守 委 員 山 田 眞 久
欠 席 委 員	
会議録署名委員	山 田 眞 久 委 員
会議録作成職員	総務企画課総務係主事 平田 拓也
事 務 局 職 員	学 校 教 育 部 長 須 藤 孝 生 ス ポ ー ツ 生 涯 学 習 部 長 小 野 寺 徹 示 学 校 教 育 部 次 長 福 田 小 夜 子 ス ポ ー ツ 生 涯 学 習 部 次 長 鹿 野 定 幸 指 導 室 長 岩 井 真 二 総 務 企 画 課 副 主 幹 柿 崎 隆 総 務 企 画 課 総 務 係 主 事 平 田 拓 也
会 議 案 件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1	委員会開会の宣言（吉本委員長） …15時30分
	先般の議会において佐藤守委員が再任された。今後も活発な活動をお願いしたい。
2	会議録署名委員の指名（教育長）
3	報 告（教 育 長）
	・本日は、沼ノ端小学校及び植苗小中学校の学校訪問をしていただいた。引き続きの委員会となるが、よろしくをお願いしたい。
	・先日、衆議院総選挙があり、民主党への政権交代という大きな国政の変化があった。これにより、様々な事業の見直しが今話題となっている。教育に関しては、子ども手当の創設・高校授業料の無償化・教員養成課程の6年制・教育監査委員会の設置・学校理事会の設置等がマニフェストで示されており、教育委員会制度の廃止についても視野にあるようだ。詳細についてはまだ不明なので、今後どのように具体化されるのか注目したい。
	・教育的行事としては、親子しおさい札幌コンサートやミール館開設10周年記念イベントが行われた。また、全国健康福祉祭ねりんピック2009の卓球と太極拳の交流会も盛大に開催された。また、北海道都市教育委員会連絡協議会の定期総会が稚内市で開かれ、各地の教育委員との情報交流を行った。
	・小学校では修学旅行が終わり、中学校でも開成・緑陵・山なみ・沼ノ端を除き学校祭を終えている。沼ノ端中は新型インフルエンザによる学年閉鎖があったため、延期されている。これまでに学級・学年閉鎖になった学校は、小学校8校、中学校5校の計13校であり、和光中については学校閉鎖に至ったという大変厳しい状況である。また、他の学校にも個別感染者がおり、全国的には死亡者も出ている。一層危機感を持って予防対策に努めなければならないと考えている。
	・8月27日には3回目となる全国学力学習状況調査の結果が公表された。市教委は数値による公表はしないとしているので、本日の議案審議の中で公表する範囲等を決

<p>め、学校への通知を行い教育委員会ホームページにも掲載したいと考えている。</p>
<p>・最後に、第12回定例会での答弁内容について概要報告をさせていただく。まず、特別支援教育の支援員の配置や研修はどのようになるのか、通級指導教室をもっと増やさないのかという質問があり、特別支援教育については必要度の高い学校に介添人や支援員を配置し研修講座にはたくさんの教員が参加しているとし、通級指導教室については、生徒の推移をみながら検討していきたいと答弁した。西小学校の水道管の腐食問題については、早期に改善していきたいとし、小学校用の新JIS規格の机と椅子の購入については、地元の企業を使ってリサイクルできないのかという意見が出され、リサイクルも視野に入れているが、今後長期間使用していくことを考慮すると新規購入した方が良いと考えている旨回答した。拓勇小学校の今後については、新設・プレハブ教室の増築・校区の見直し等を検討しながら、なるべく早い段階で結論を出していきたいと説明した。三光町のパチンコ店の問題については、分筆をして規制をクリアしており、問題ないと答弁した。学校適正配置の計画についても様々な質問が出されたが、まだ基本方針の素案を提出した段階であり、今後市民の意見も取り入れながら検討していきたい旨答弁した。小中一貫教育はできないのかという質問に対しては、本格実施となるとクリアしなければならない問題がたくさんあるため、現段階では連携型の実践を検討していきたい旨答弁した。ジャージ登校に関しては、学校が主体的に判断するものであって、教育委員会が強制する部分ではないことを説明した。体力向上のために何か取り組んでいることはあるのかと指摘されたが、各学校で日常に体育活動を取り入れるよう工夫しているが、今後市教委としても改善策を検討しなければならないと考えている旨答弁した。美術館を早く設置してほしいという件については、現在博物館で検討しており、関係機関とも協議しながら進めていきたいと伝えた。指定管理者制度については、なぜ合意なしで判断したのかと指摘されたが、18年度から交渉してきたが22年度の導入を目指して合意に至らなかったため、このままでは市民理解が得られないと考え、市教委の責任で決断した旨説明した。メリットは何かと問われたが、経費削減や利便性が増すことであると答えた。青少年の体力</p>

<p>増強についてはデータが足りない部分があるので、これからデータを集約する考えを伝えた。静川遺跡の整備に関しては、財政的に非常に厳しいということや、歩道を造るにあたって民有地が必要なため現在協議中であることを説明した。その他、文教経済委員会では、学校規模適正化基本方針素案の説明、第一学校給食共同調理場の移転新築の事業費、仮称沼ノ端健康増進施設建設の事業費の説明、佐藤守委員の継続任命の同意、補正予算関連では植苗小中学校の煙突改修工事について説明を行い了承を得た。</p>
<p>(吉本委員長) 教育長報告に関連して質問がなければ、議事を進めたい。</p>
<p>4 議案審議</p>
<p>議案第一号 平成21年度全国学力・学習状況調査結果の公表等について</p>
<p>(指導室長)</p>
<p>・平成21年度全国学力・学習状況調査結果の公表等について説明させていただく。指導室ではすでに調査結果の分析を終え、それを基に、苫小牧市学力向上検討委員会のワーキンググループで一度目の考察を終了した。10月1日には第2回苫小牧市学力向上検討委員会の全体会議を開催し、調査結果とその考察について最終的にまとめる予定となっている。本日は、指導室及び検討委員会ワーキンググループで考察した概要を報告したい。(以降、議案第一号資料を読み上げ)以上、調査報告とさせていただき、結果の公表等について審議をお願いしたい。</p>
<p>(佐藤守委員) 昨年、結果を公表した学校はあったのか。</p>
<p>(指導 室長) 各校とも、保護者に対して学校の傾向等を公表した。</p>

(佐藤郁委員) 沖縄県では、秋田の教員を派遣してもらったりしているようだが、北海道としては、そのような交流を行う計画はないのか。
(指導 室長) 本市では昨年度、学力向上検討委員会の委員長と指導主事が秋田県を視察しており、そこで得たものを生かしながら学力向上に取り組んでいるところである。
(教 育 長) 道の事業で教員の交換交流は行っている。現在、本市から秋田へ教員が派遣されており、昨年まで2年間は秋田から苫小牧に教員が派遣されていた。いずれにせよ、市単独でというよりも道教委事業の中で派遣をお願いしている。
(佐藤郁委員) このような地道な活動について、保護者にもPRしていくことも必要ではないか。
(鈴木 委員) 結果の公表については、道教委の考えに沿って行うことで問題ないと思う。
(佐藤守委員) 学力向上検討委員は昨年と同じメンバーなのか。
(指導 室長) 2年継続となっている。
(教 育 長) 公表については行わないが、各校長とも膝を付け合せて、実態把握に努めている。それぞれの学校がお互いに実態を把握することは必要だと思うので、数値以外の部分の情報を共有すると良いと考えている。
(吉本委員長) 結果と併せて学力の向上に向けての具体的なプランを示せると良いと思う。
(指導 室長) 検討委員会では、市としての取り組みに各学校の特色や工夫を付け加えてプランを示し、学校で出来ることと家庭で出来ることに分け、さらに教育委員会が取り組んでいくことを示すような形にしていこうとする動きがある。今年度中にまとめていきたいと考えている。
(吉本委員長) 結果の公表については、昨年同様概要を公表するという事で承認してよろしいか。

(一同「異議なし」の声)

—原案どおり承認—

議案第二号 平成21年度苫小牧市文化賞・文化奨励賞の選考について

(人事案件のため、秘密会とする旨議決する)

議案第三号 教育委員会一般職員の人事について

(人事案件のため、秘密会とする旨議決する)

議案第四号 教育委員会職員の処分について

(人事案件のため、秘密会とする旨議決する)

議案第五号 委員長の選挙について

(人事案件のため、秘密会とする旨議決する)

議案第六号 委員長職務代理者の指定について

(人事案件のため、秘密会とする旨議決する)
議案第七号 教職員の処分内申について
(人事案件のため、秘密会とする旨議決する)
(吉本委員長) 議案第五号・議案第六号の結果について報告させていただく。委員長は、私、吉本俊憲、委員長職務代理者は鈴木正樹委員に決定したので、引き続きよろしくお願ひしたい。
5 協 議
協議案件なし
6 その他
(学校教育部長)
・第二学校給食センターでのアスベスト飛散事故に関連して、アスベスト被害を考える会より被災証明書の発行の要請があり、飛散事故により被災したという特定はできないという観点で現在まで協議してきた。その中で、居住確認申請書を住民から提出していただきそれを市が受理し保管するという方向で、昨日話がまとまったので報告

させていただきます。

・植苗小中学校の改修工事については、環境衛生部の公害対策費の中の補正予算で行うよう進めさせていただいたのでご理解いただきたい。

7 委員会閉会の宣言（吉本委員長）…17時45分